

祝 弓道・ボート部 優勝 インターハイ出場



江工新聞

発行
江津工業高校
第3号

県総体結果報告会・表彰式

6月4日(月)県総体の結果報告会と表彰式が行われました。各部のキャプテンが成績を報告した後、校長先生より優勝旗・優勝杯・表彰状が手渡されました。



ボートでは、平田(総合電気3年)大倉(建築2年)佐々木(総合電気3年)森原(建築3年)岡崎(建築3年)が出場した男子舵手付きクオドルプルで優勝しました。



弓道でも、男子団体に出場した飯島(総合電気3年)竹下(総合電気2年)山内(総合電気3年)本藤(機械3年)光岡(総合電気3年)が優勝しました。両部とも、8月に行われる全国高等学校総合体育大会に出場します。

校内レガッタ大会 開催される

恒例の第29回校内レガッタ大会が6月12日(火)江津市の江の川河口で開かれました。全校生徒と教職員の計42クルーが5人一組のナックルフォアで江の川橋から河口方面へ向かう350メートルのコースでタイムを競いました。同大会は開校50周年の記念事業の一環として1984年から始まり、荒天で5回の中止はありましたが、県内でも特色ある学校行事として定着しています。

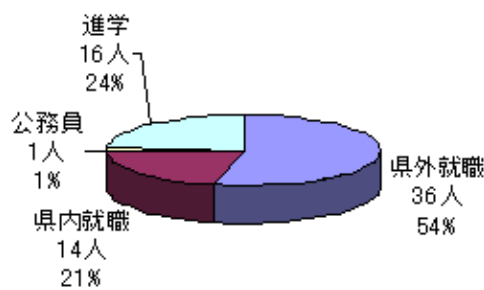


特集 昨年の江工進路情報

大手企業に多数就職!

昨年3月に起きた東日本大震災や円高などの影響で昨年の高校生の求人数は大幅に減少しました。それでも工業高校は不況に強く、島根県の求人倍率0.95倍を大きく上回り、本校の求人倍率は4.72倍にもなりました。就職内定率も100%で、就職1次内定率も87%と非常に高い数字を残しています。しかも、難関とされる中国電力、関西電力などの電力会社やJFEスチール、神戸製鋼などの製鉄会社、そしてトヨタ自動車、マツダ、デンソー、JRX日本などの世界のトップ企業に合格しています。

平成23年度進路決定状況(3年生67名)



求人倍率 4.7倍

就職内定率 100%

江工 掲示板

中学生一日体験入学

「ものづくり」を体験しよう

8月21日(火)

内容

- ・体験学習
- ・部活動見学会

来て見て、ワンダフル!



主将からの部活動紹介

弓道部

主将 飯島 大貴

(大田三中出身)



私たち弓道部は、6月の県総体まで、男子二十一人、女子五人の計二十六人で活動してきました。

昨秋の中国新人大会へ男子団体が出場したのをはじめ、先日も中国選手権大会へ男子個人・団体ともに出場してきました。本校を会場に行われた県総体では、男子団体が二年ぶり十五回目の優勝を勝ち取り、8月に長野県松本市で開催される全国高校総体へ出場することになりました。多くの方の声援を受け、練習を重ねた成果を残すことができ、とても嬉しく思っています。

弓道は中学校までの経験者が少ないため、高校に入ってから始める人がほとんどです。スタートラインが皆同じため、練習すればするほど上達するやりのあるスポーツです。また江津工業では、女子が活動できる数少ない体育系部活動の一つです。普段の練習では、男女の区別なく楽しく熱心に活動しています。

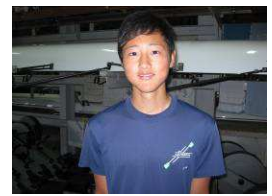
道着姿も魅力の一つです。的に向かっていく姿に興味を持たれたら、ぜひ江津工業弓道場を訪れてください。毎日欠かさず練習していますので。



ボート部

主将 栗原 洸太

(浜田一中出身)



僕たちボート部は、三年生九人、二年生四人、一年生六人の十九人で活動しています。ボートには、一人で漕ぐシングルスカル、二人で漕ぐダブルスカル、四人で漕いで一人が舵をとるクオドルプルがあります。

一年間の練習内容は夏場乗艇を中心に練習し、大会に向けて練習しています。冬場は次の年の大会に向けて陸上トレーニングを中心にがんばっています。

今年の県総体ではクオドルプル優勝、ダブルスカル2位、シングルスカル2位の成績をおさめクオドルプルが新潟県で開催される全国総体に出場します。

過去には全国で活躍したクルーも数多くいます。僕たちは全国大会に出場し、活躍することを目標に日々練習に励んでいます。



野球部

主将 永見 健浩

(浜田四中出身)



本校の野球部は過去に県内工業高校で唯一、選抜大会、選手権大会での甲子園出場を果たした実績を持っています。

今年は浜田高校から佐々木監督を迎え、野球を通して人間的にも成長すべく「矜持(プライド)」をスローガンに、一生懸命ひたむきに練習に取り組んでいます。その結果、部員の雰囲気や目の色が以前より変わったように思います。また、部員同士で何度もミーティングをして話し合う機会を持ちました。そのおかげで絆が深まった気がします。

夏の選手権大会は三年間の集大成なので、元気あふれるプレーを展開し、最後まであきらめない姿勢を貫きたいと思っています。

お世話になったすべての人達への感謝の気持ちを胸に、全力プレーで頑張ります。

